



第 號
 起 十一年一月 日
 裁可 年 月 日
 施行 年 月 日

内閣總理大臣 是

内閣書記官長

内閣書記官

大正十二年一月十日 内閣總理大臣

宮内大臣宛

申 牒

正二位大勲位候爵大隈重信ハ別紙功績
 書ノ通功績顯著ナル者ニ付左記ノ通陞
 爵ノ儀詮議相成度

内閣

記

正二位大勲位候爵大隈重信
 依勲功特陞授公爵

二十三

功績書

正二位大勲位侯爵大隈重信

右ハ舊佐賀藩士ニシテ夙ニ勤王ノ志ヲ抱キ
國事ニ盡瘁ス明治元年三月徵士參與職
外國事務司判事出身以來長崎府判事外
國官判事外國官副知事參與職大藏大輔
民部大輔參議等ニ歷任シ主トシテ財政
及外交ノ事ヲ鞅掌ス其ノ間大改造幣寮
ノ創設鐵道ノ創建等ニ盡力ス尋テ大藏
省事務總裁兼大藏卿トナリ七年臺灣蕃

内閣

地事務局長官征討費總理事務局長官トナ
リ十一年地租改正局總裁十二年條約改正
御用掛トナル十四年十月依願免本官トナ
リ此ノ間東京專門學校ヲ起シテ育英ノ
事ニ從フ尔後引續キ早稻田大學子トナリ
以テ今日ニ至ル二十年五月特旨ヲ以テ華
族ニ列セラレ勲功ニ依リ特ニ伯爵ヲ授ケラ
ル翌年二月外務大臣トナリ專ラ條約改正
ノ事ニ膺ル二十二年樞密顧問官トナリ二
十四年 月依願免本官トナル二十九年

再々出テ、外務大臣トナリ三十年三月農商
務大臣ヲ兼任ス今年十一月依願免本官並
兼官三十一年六月大命ヲ拜シテ内閣ヲ組
織シ内閣總理大臣兼外務大臣トナル今年
十一月依願免本官並兼官大正三年四月再
々大命ヲ拜シテ内閣ヲ組織シ内閣總理大
臣兼内務大臣トナリ其ノ間大正三四年事件
並御即位大禮ノ事アリ五年七月勲功ニ依リ
特ニ陞シテ侯爵ヲ授ケラル今時ニ貴族院令ニ
依リ議員ノ位列ヲ得タリ今年十月依願免

内

閣

本官特ニ前官ノ禮遇ヲ賜ヒ併セテ御沙汰ヲ
賜フ七年勅旨ヲ以テ維新史料編纂會顧
問仰付ラレ前後功績顯著ナルモノトス